

た勇氣と根氣のある若者に、わが意をかなえさせる。」といい伝えた。

それから若者たちは、毎晩勇氣をふりしぼって恋の錦木を立て続けたという。このことに因んで、昔の「宣撫沢」は後に「千本沢」と呼ぶようになったという。果して、千本の錦木を立てた若者がいたかどうかは知るよしもない。

(三) 「布さらし岩」その他

小手姫にまつわる地名も多いが、小手姫神社上流五〇米のところには、姫が織った布をさらしたという「布晒石」があり、また糸をとるときに使う「綾竹」をとったところを「竹ノ内」、ほかに箴塚おさづかをおさめたという「箴塚」、蔓わづかをおさめた「蔓塚」などもあり、布川の地名もまた小手姫のゆかりによったもので、町の文化財として指定されている。